

山と川の総合防災情報ネット

受賞機関 岐阜県基盤整備部河川課
岐阜県基盤整備部砂防課

「山と川の総合防災情報ネット」整備の目的

近年の異常気象などにより、岐阜県内では平成11年の飛騨・郡上地域、平成12年の恵南地域をはじめ、各地で甚大な災害が発生している。

このような水害や土砂災害等による被害の軽減を図るためには、治水事業等（ハード対策）を推進するとともに、水防活動、住民への防災情報の提供、早期避難の誘導等のソフト対策も充実させることが重要であり、この「山と川の総合防災情報ネット」は河川情報・土砂災害警戒情報の一般への提供を行うものである。

岐阜県では「安全・安心な生活環境づくり」のため本システムを整備し、平成14年6月1日より県民に気象予警報や河川水位、降雨状況ばかりでなく、排水機場稼働情報、ダム情報、河川映像情報、土石流・がけ崩れ警戒情報などの河川・砂防情報をリアルタイムに提供している。これにより水害の危険性や土砂災害の発生を事前に予測し、早めに避難することができ、ITを活用した安全・安心で豊かな県民生活の実現を目指している。

「山と川の総合防災情報ネット」の特徴

雨量、水位、気象予警報の情報提供に加え、排水機場稼働状況、樋門の開閉状況、河川映像情報を提供するの、全国の都道府県で初めてであり、最も多くの情報を県民に提供している。これらの情報は、県の観測データのみならず国の観測データも活用しており、コストの縮減を図りながら豊富な情報提供を可能としている。また、年々情報内容の充実を図り、平成15年度からは予測水位情報についても情報提供している。

住民の方々や防災担当者が使いやすいように「川の防災情報システム」と「土砂災害警戒情報システム」は互いにリンクさせ、ホームページの設計も統一している。河川の情報を見ているときでも、砂防の情報を見ることができ、またその逆も可能である。

視覚的に洪水による危険度が分かるよう、現在



水位と併せて堤内地の地盤高や主要な建物も横断面図で表示する。また、河川の状況監視のための河川映像もあわせて情報提供している。

土砂災害警戒情報は、土石流・がけ崩れに区分し、雨量局ごとに危険度表示により一目でわかりやすく表示している。

「山と川の総合防災情報ネット」の運用

「川の防災情報」のインターネット利用実績としては、平成14年7月の台風第6号時に1日で約9,500件のアクセスがあった。このときは、午前1時から午前7時までの深夜の時間帯が大部分であったにもかかわらず、日平均191件に対し約2ヵ月分程度のアクセスが1日に集中しており、大変多くの県民の方が必要としている情報であることも明らかとなった。

なお、「山と川の総合防災情報ネット」のアドレスは、

インターネット

<http://www.kasen.pref.gifu.jp>（川の防災情報）

<http://www.sabo.pref.gifu.jp>（土砂災害警戒情報）

携帯電話

<http://www.kasen.pref.gifu.jp/h>（川の防災情報）

<http://www.sabo.pref.gifu.jp/h>（土砂災害警戒情報）である。